

## 阪神淡路大震災復興事業報告書

R I 第 2680 地区パスト・ガバナー 田 中 毅

当地区を直撃した阪神・淡路大震災から、はや 16 年が過ぎました。その被害は淡路島、神戸市、阪神全域に及び、死者 6,434 名、負傷者 43,792 名、家屋全壊 104,906 戸、半壊 144,274 戸、被害総額 10 兆円という未曾有の大惨事となりました。

震災直後から、国内はもとより全世界のロータリアンの皆さまから暖かいご支援を賜りましたことを心から感謝しつつ、地区内全会員が一丸となって復旧から復興に向かって努力いたしました。鉄道、港湾、幹線道路、公共の建物などは修復が終わって、昔日の面影を取り戻したものの、10 数年経った今ですら、いったん幹線道路を離れると未だにあちこちに更地や、臨時の駐車場が残っているのが現実の姿です。。

全世界のロータリアンからご寄贈いただいた義捐金を有効に活用するために、直ちに地区震災復興委員会を組織し、クラブ・レベルの震災復興事業と連携しながら、一連の事業を進めて、最終的な事業に備えていた約 2 億 3 千万円を、震災に関連した青少年事業に投入して、2001 年 6 月末をもって、震災復興事業をすべて終了しました。

2011 年 3 月 11 日、突如として三陸沖を震源とする巨大地震が東日本を襲いました。現時点においてはロータリアン自身が被災者であり、復旧活動もままならないと思いますが、間もなく世界中から義捐金やボランティアが集まって、復旧復興活動が活発化するものと思われます。復興活動には 10 年以上の年月がかかります。何から手をつければいいのか分からない初期の活動から徐々に被災地の真のニーズが見え始めます。それを機にロータリアンは奉仕活動の実践をしなければなりません。

1997 年 8 月発行の「ロータリーの友」に 1997 年度末にまとめた事業報告書が掲載されていますが、その後の地区震災復興委員会の収支報告と活動報告およびクラブの震災復旧・復興活動報告をまとめ直してみました。何かの参考になれば幸いです。



## 地区レベルの震災復旧・復興事業

### 震災直後の活動

ミルク、水、生活に必要な物資の配布。

それぞれの職業を通じた奉仕活動・・・医師による死亡診断書作成、応急診療所への出務。

ロータリークラブの活動は不可能に近い。ロータリアン個人の行政への協力に留まる。

### ロータリー子どもの家 1995年から現在まで

神戸市中央区内の真生塾の敷地内に、ロータリアン、ローターアクター、インターアクター等の勤労奉仕によって建設した施設です。当初は震災で親を亡くした子どもの収容施設として設立されましたが、その後、被災地域の仮設住宅居住者や児童を対象に様々な事業が、ロータリアン、インター・ローターアクター、専従スタッフ、その他多くのボランティアによって実施されています。

子どもの家を中心にした被災者（児童）支援の主な活動として、メンタル・ヘルス・ケアを中心とする治療的プログラム、ボランティア指導者養成プログラム、広報啓蒙活動などのほかに、被災児童によるミュージカル「レミゼラブル」の上演、楽団の演奏指導、木工教室、自由遊び、いもほり大作戦、ワイワイまつり、もちつき、もみの木のひろばの諸活動、ロータリー少年少女キャンプへの派遣、高知県室戸岬へのキャンプ、サッカー観戦、映画鑑賞「金色のクジラ」、木下大サーカス見学、モンゴル草原自転車ツアー、被災家庭へのボランティア派遣、七草摘みと七草粥バスツアー、みんなおいでよ！春まつり、東条義子さんのお話会、お絵かき会、大倉山仮設住宅地域との交流、不登校児童のフリースペース、不登校児を持つ親のためのカウンセリング、音楽劇「美男におわす八尾地蔵」の練習と公演、貝をいっぱい採ろう会、子どもの家設置などの広範な活動を実施しています。

なお、キンロス RI 会長夫妻、ブラウン元 RI 会長夫妻、ジアイ元 RI 会長夫妻、カパラス元 RI 会長を始め、多くの方々がこの施設を見学されました。なお活動が長期化するため、その活動資金として、一定金額を内部留保しています。

#### 教育プログラム

木工教室	毎月1回	お話の会	毎月1回	あおぞら色彩学園	毎月1回	うたっ子クラブ	毎月2回
ことばとコミュニケーションのプログラム		学習会	音楽療法（リトミック）	プレイセラピー	中高年のアトリエ		

#### GFS 手芸クラブ

#### 野外活動

---

川で遊ぼう 木の実で遊ぼう 早春を遊ぼう スプリング・キャンプ 春の野草を摘もう 秋のキャンプ  
雪遊び きのご狩り クリスマス・キャンプ ファミリー・キャンプ 海遊び

#### 心の解放のプログラム

あおぞら色彩楽園 もみの木ひろば（復興住宅支援プログラム）

#### 母親支援プログラム

おかあさんいきいきプログラ 子育て元気アッププログラム 子育てストレス・ホットライン 親と子のふれあい講座 毎月  
2回 若いお母さんと1歳～3歳の幼児のふれあい講座 子育て元気アップ講座

---

#### ロータリー・フレンドシップ・ハウス（留学生の家）1995年～1997年

震災で住居を失った留学生の収容施設として、神戸YMCAの敷地内にロータリアン、ローターアクター、インターアクター等が自ら汗を流して建設した施設です。なお、留学生以外にもボランティアやスタッフの受け入れ施設としても活用されましたが、現在は取り壊されています。

---

#### 同額補助金制度 1995年～1997年

ロータリー財団の同額補助金を模して、クラブ・レベルで震災復興事業を行っているクラブに、地区からほぼ同額の補助金を支給する制度です。19クラブの事業に対して約8,600万円の補助金を交付しました。なお、地区内の多くのクラブが、クラブの独自の財源やクラブ・レベルで受け取った義捐金を活用して、独自の震災復興活動を実施しています。

---

#### 西宮学生ボランティア交流センター

この震災において特記すべきものに、ボランティアの積極的な活動があげられます。震災時に登録された学生ボランティアのデータを、今後有効に活用するために設立されたセンターで、阪急西宮北口に事務所を設置し、インターネットを活用してボランティア情報の収集や提供、学生ボランティアの追加登録・派遣などの業務を行っています。西宮市内および阪神間の10大学がこのネットワークに加盟し、西宮、西宮甲子園、西宮夙川RCが中心になって運営に当たっています。

---

#### 建築技能アカデミー 1996年から2000年

---

震災復興のために必要な町の建築技能者を短期間に養成する学校で、ハウズビルダー科、インテリアクラフト科、タイルブロック科、ドローイング科、CAD科などがあります。受講生には震災で失職した人、中高年の転職・再就職希望者に混じって若者の姿も目立ち、それぞれの課程を終了した大勢の技術者が、実社会で活躍中です。神戸、阪神間のロータリアンが中心になって設立、運営にあたっており、多くの会員がその職業経験を生かして講師としてボランティア活動をしています。

なお2000年に借用していた土地で再開発が始まったため、閉鎖されました。

---

#### **震災関連青少年特別事業プログラム 1999年～2001年**

各クラブからの申請に基づいて審査の上支払われた、震災に関連した青少年活動に対する補助金制度です。震災義捐金の残余金をすべてこれに充て、2001年6月30日をもって震災復興プロジェクトをすべて終了しました。

---

## 阪神・淡路大震災義捐金収支明細書

### 収入の部

	95.1～95.6	95.7～96.6	96.7～97.6	97.7～98.6	98.7～99.6	99.7～00.6	00.7～01.6
ガバナー	計馬	松岡	田中	松下	谷水	米谷	中嶋
国内義捐金	761,649,109	20,511,457					
海外義捐金	54,147,100						
その他	14,413,742	4,048,616	121,364				59,680
預金利息	921,549	921,036		10,520		441,741	22,575
前年度繰越金		519,502,231	286,246,205	236,180,618	219,583,704	219,583,704	8,263,792
合計	831,131,500	544,983,340	286,367,569	236,191,138	219,583,704	220,025,445	8,346,047

### 支出の部

	95.1～95.6	95.7～96.6	96.7～97.6	97.7～98.6	98.7～99.6	99.7～00.6	00.7～01.6
被災クラブ見舞金	34,000,000	2,000,000					
救援物資購入費	6,440,357						
フレンドシップハウス・子どもの家	247,081,400	100,227,983					
米山奨学生支援	2,800,000						
留学生支援金	3,300,000						
復興映画祭	6,947,000						
青少年ツアー補助	1,500,000						
がんばれ兵庫っ子	3,001,641						
復興活動費	1,795,946	462,772					
震災記録誌発行費	4,762,925						

同額補助金制度		86,046,380					
学生ボランティア 交流センター設立		70,000,000					
建築技能アカデミ ー設立・運営資金			50,000,000	10,000,000			
神戸ファッション			2,000,000				
117 奨学金制度				7,200,000			
震災関連青少年事 業						220,025,445	8,346,047
合 計	311,629,269	258,737,135	52,000,000	17,200,000	0	220,025,445	8,346,047

### 震災関連青少年特別事業

神戸南	慰霊と復興のモニュメントへの寄付	10,000,000	篠山	丹波緑のボランティア部隊	7,000,000
尼崎西	ニュージーランドの青少年との交流	2,250,100	神戸中	ロータリーボランティア支援ハウス	6,000,000
明石北	明石海洋少年団訓練用ヨット寄贈	4,000,000	芦屋川	芦屋ボランティア中継所	6,000,000
神戸東	兵庫県外国人学校震災復興支援事業	1,000,000	西脇	ロータリー子供の森	10,000,000
淡路三原	中国大連市中山区野球スポーツ少年団との青少年交流事業	500,000	姫姫南	わんぱくちびっこ情報団	10,000,000
神戸東灘	トルコ北西部地震緊急救援委員会による救援チームへの支援	1,000,000	神戸ハーバー	日台親善青少年野球大会	1,000,000
尼崎北	僕たちの意見	2,000,000	淡路北	ジャパンフローラ博に車椅子を寄贈	4,000,000
生野	生野ロータリーカップ	3,000,000	南淡路	志知高校郷土芸能ダンジリ唄道具支援	6,600,000
赤穂	ボーイスカウト海外交流事業	2,000,000	浜坂	浜坂高校獅子サークル獅子舞用具一式	5,200,000
拍原	柏原高校 IAC 海外交流短期研修事業	1,000,000	神戸西	子供の虐待防止プロジェクト企画	8,257,370
洲本	絵画交流でヌーサ・オーストラリアの子らと友達になろう	700,000	相生	ペーロン太鼓	2,352,000
伊丹	伊丹市の青少年音楽教育の振興	3,000,000	姫路	ゆりの木国際市民センター	10,000,000
芦屋	インターネット情報技術教室	5,302,100	高砂青松	自閉症施設あかりの家へ送迎バス寄贈	1,600,000
伊丹昆陽池	21世紀の森	5,000,000	上郡	中学生によるほたる飼育の援助	1,000,000
神戸西神	発育遅延の育児の早期治療とケア	8,664,000	三田南	シドニーパラリンピック支援	2,600,000

小野	小野・加東発青少年緑の協力隊	5,000,000	宝塚武庫川	LD児講座冊子発行	1,500,000
神戸	あぶあぶあニューヨーク公演支援	6,000,000	加古川	がんばれ少年少女クルージング	4,400,000
北条	かさい夢っ子の家	8,480,000	神戸垂水	マリアナ諸島への見学交流	2,100,000
神戸六甲	震災孤児癒しの家あしなが育英会 ルインポーハウス支援事業	1,000,000	あわじ緑	緑町青少年育成活動支援事業	2,100,000
尼崎	尼崎市内青少年の国際交流研修	3,850,000	津名	津名カブスカウト隊再発足支援事業	1,000,000
姫路東	インターネットによる青少年の国際 交流と国際親善	6,000,000	神崎	地域と自然に学ぶロータリー学校	2,300,000
西宮	タイムカプセル計画	2,500,000	西宮夙川	ふれあいときめきチャレンジ事業	2,500,000
豊岡	コウノトリとともに心豊かな青少年 を育てよう	5,000,000	加古川平成	青少年におけるボランティア活動 の推進と介護技術習得講座開設	6,000,000
2680 地区	ロータリー子どもの家移転支援金	6,844,367			



## クラブ・レベルの震災復旧・復興事業

明石北	明石救援対策本部へ義援金	神戸有馬	西宮北インタチェンジ周辺を清掃、被災転入学児童、生徒 205 人の就学激励、神戸北高校生の社会奉仕活動支援へ援助金、地域内小学校児童(17校、7,000人)に給食援助神戸キリスト教会と須磨小学校の避難所に簡易浴場設置
神戸垂水	神戸市民生局へ子供用運動靴 3,000 足、高校生や留学生の援護活動	川西猪名川	川西市対策本部へ義援金、家屋全壊会員に見舞金
南淡	西宮、甲子園、津名、淡路北各 RC へ見舞金	淡路三原	あわじ緑、南淡 RC とともに飲料水を淡路北部被災地へ
豊岡	読売新聞社へ義援金	津名	管内の仮設住宅入居高齢者 120 人を大鳴門橋記念館、淡路人形浄瑠璃館など日帰り旅行に招待。受領義援金を一宮町へ
加古川平成	米山奨学生へ見舞金、くつ下 1 万足を被災者へ、神戸市内の避難所で食事炊き出し	明石	受領見舞金にクラブの 300 万円を加え計 500 万円を県立看護大学へ活動助成金として贈呈
西宮	西宮ボランティアネットワーク支援へ援助金、市の復興記念植樹祭に協力	柏原	丹波県民局へ義援金、県立丹波文化会館へ生活用品提供、 柏原高校 IAC のボランティア活動支援など
明石西	毎例会時に 1 人 300 円拠出、受領見舞金と合わせ計 380 万円 を基金として 3 年継続事業で被災青少年のケアなど実施	神戸東	神戸少年の家、神戸市立友生養護学校、同青陽東養護学校へ援助金、堺泉北 RC の協力で王子スポーツセンターなど 4 避難所で食事炊き出し
三田南	三田市災害対策本部へ義援金、市内のボランティアグループに活動援助金	尼崎東	受領見舞金を地区ガバー事務所へ
姫路	神戸新聞厚生事業団、NHK へ義援金、神戸 RC へ見舞金	神戸西	長田区の障害者仮設作業所へエアコン贈呈

明石南	神戸新聞厚生事業団へ義援金	三木みどり	芦屋在住会員に小型バイク配布
加古川中央	兵庫女子短大 IAC の救援活動支援	香住	神戸・北野小の避難所へ紙オムツ、懐中電灯など贈る
洲本	淡路 RAC の救援活動支援	豊岡	読売新聞社へ義援金
川西	川西市災害対策本部へ義援金	姫路南	神戸新聞厚生事業団へ義援金
高砂	日赤兵庫支部へ義援金、野々村会員 3 台の自家製風呂を約 100 日間避難所に設置(延べ 3, 000 人利用)	高砂青松	神戸新聞厚生事業団へ義援金
西宮風川	香炉園、夙川、北夙川、大社、安井、浜脇各小学校、おおば福祉会に見舞金、ボーイスカウトへ活動援助金	神戸ベイ	ベイシェラトンホテル営業再開コンサート支援。鈴鹿ベイ RC とともに生活資材提供、神戸東灘 RC とともに六甲アイランド復興フェスティバル支援
神戸須磨北	避難所で「ロータリー何でも相談コーナー」開設、啓明女学院 IAC、多井畑フットボールクラブ、須磨区剣道協会、少年野球・神戸須磨クラブへ援助金、須磨署へパトカー1台	神戸東灘	東灘区社会福祉協議会へ大阪・堺 RC と共同で高齢者輸送用ワゴン車贈呈、避難所へ 1-3 月中トイレ用水運搬、避難所巡回の緊急医療隊編成、四国から飲料水運び入れる
宝塚 3RC 合同	宝塚市福祉専用仮設住宅へ大型テレビ 3 台寄贈、ボランティアクリレーブに活動費援助、宝塚少年少女合唱団の復興祈念演奏会支援	芦屋	芦屋市役所へ義援金。芦屋大付属幼稚園児が描いた大地震のクレヨン画をまとめた絵本「ぐらぐらぐらつ」を大阪北 RC とともに出版、円、いいな(1・17)奨学金」設立
伊丹毘陽池	伊丹市へ義援金	神戸西神	神戸市西区役所へ義援金、神戸西署へパトカー1台寄付、ボーイスカウトに給食材料費助成
神戸北	京都洛西 RC とともに被災留学生 5 人に見舞金	篠山	日赤兵庫支部へ義援金、阪神第二分区及び友好クラブ(10クラブ)へ見舞金。飲料水などを神戸へ
神戸南	大震災義援金箱設置、会員被災状況報告書作成、年度後半会費減額	三田	芦屋、西宮市へ飲料水搬送。神戸市内の避難所に握り飯提供
赤穂	神戸市内の避難所でボーイスカウトとともに食事炊き出し	芦屋川	二田谷治療教育院へ助成金、足長おじさんプロジェクト支援へ援助金、「心の広場」事業計画